夕焼け空に赤トンボ　飛び去り家路の道

原島洋子

茜空に赤トンボ　暮れ行く年に別れ歌

ひぐらしの鳴き声から赤とんぼ　栗の匂い

鯵焼く匂いに　猫の鼻が鳴る

松本松陰

想い揺れ　霊獣の王たるムチヤリンダ

釈迦を守りて今も直

音も無く　降り積む雪に夢託し

明日なき老いに　さらさらとして

雨の朝　風に揺れてる夢の端

産んで別れた子の吐息　ユラリと切なく

はるみ





リハビリ作品展

令和八年　茜空の号